

実験4

とかしたものを取り出すには

手順

めあて

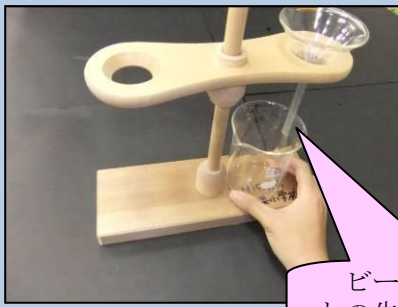
水溶液の性質を利用して、水に溶けているものを取り出せることを理解させる。

手順

(A・B・Cともミョウバン水溶液の実験の後、食塩水の実験を行う。)

A ろ過実験

① ろうと台、ろうと、ビーカーをセットする。



ビーカーのかべにろうとの先をつける。

② ろ紙を準備した後、ろ紙を水でぬらして、ろうとにぴったりとつける。



液がろ紙からあふれないように注意する。

③ ミョウバン水溶液を、ガラス棒に伝わらせてそそぐ。食塩水についても同様に行う。



B 蒸発実験

① 蒸発皿にろ過後のミョウバン水溶液をいれる。



時間短縮のために、入れる液は少量にする。

② ガスコンロで軽くあたため少し乾いてきたら火を消して余熱で蒸発させる。



③ 食塩水についても①~②のようにして調べる。



加熱中は、蒸発皿を覗き込まないようにさせる。

C 氷水で冷やす実験

① 大きめの容器に氷水を準備する。



カップラーメンの空き容器や、500 mL ビーカーでもよい。

② ミョウバン水溶液のろ液を500 mL ビーカーの氷水に入れる。



③ 食塩水についても①~②のようにして調べる。



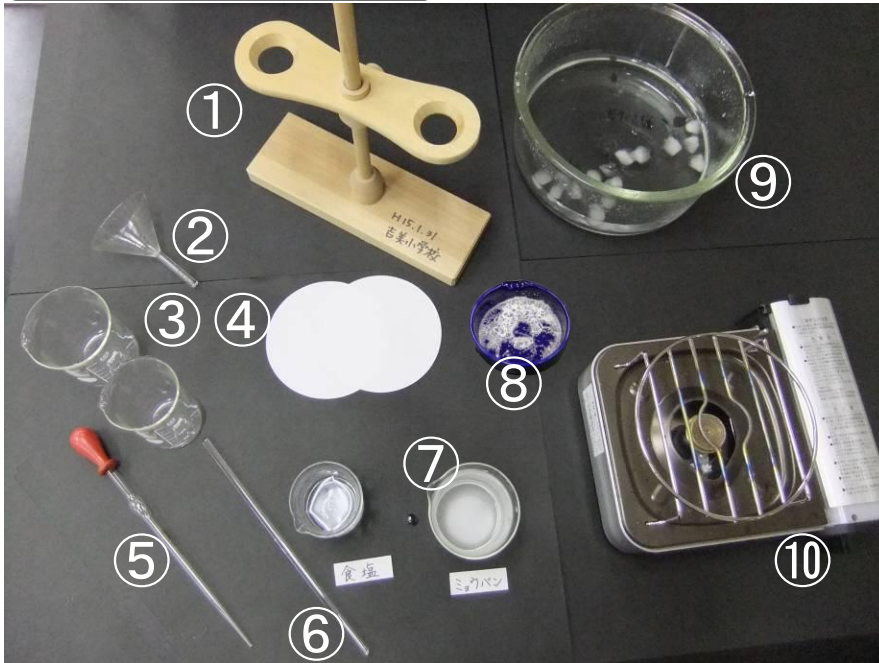
適切に実験結果を得るために十分に冷やす。

実験4

とかしたものを取り出すには

準備

準備物 (1班分)



- ①ろうと台
- ②ろうと
- ③ビーカー (200mL×2)
- ④ろ紙
- ⑤駒込ピペット
- ⑥ガラス棒
- ⑦実験3でできた液
(食塩水、ミョウバン水溶液)
- ⑧蒸発皿 (底が平らなもの、色付
のものが望ましい)
- ⑨氷水
- ⑩実験用ガスコンロ

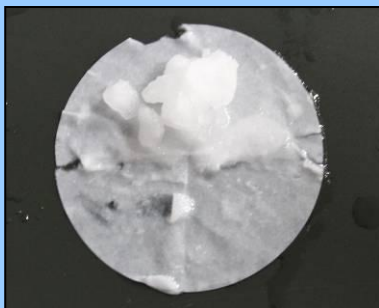
実験結果の例

A ろ過実験

ろ紙に残ったもの
食塩水



ミョウバン水溶液



B 蒸発実験

蒸発皿に残ったもの
食塩水



ミョウバン水溶液



C 氷水で冷やす実験

冷やした結果
食塩水



ミョウバン水溶液

